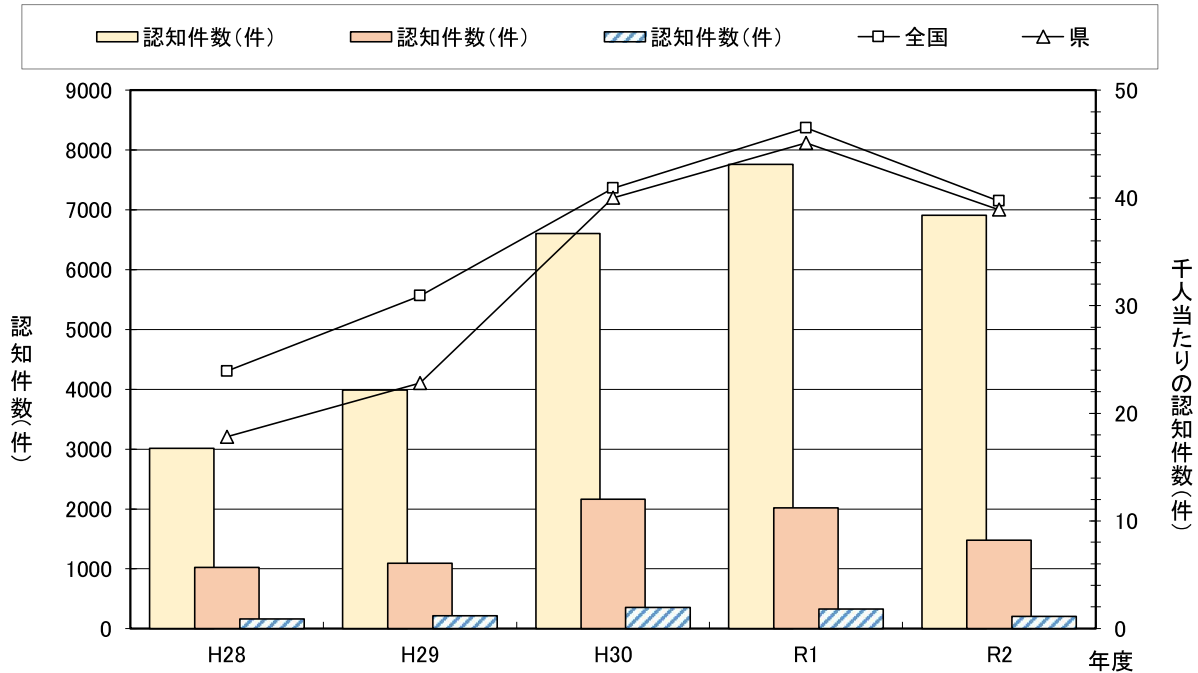


- 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、8,638件（前年度10,198件）であり、前年度より1,560件（15.3%）減少。1,000人当たりの認知件数は38.9件である。
- 認知件数は、全国と同様に全校種で減少。その背景に、新型コロナウイルス感染症の影響による児童生徒間の物理的な距離の広がりや様々な活動の制限、年間授業日数の減少等が考えられる。

1 校種別認知件数及び1,000人当たりの認知件数の推移



[単位: 件]

年度		H28	H29	H30	R1	R2	
小学校	認知件数	3,016	3,988	6,603	7,758	6,910	
	前年度増減	2,193	972	2,615	1,155	▲ 848	
中学校	認知件数	1,017	1,091	2,166	2,020	1,475	
	前年度増減	392	74	1,075	▲ 146	▲ 545	
高等学校	認知件数	158	214	351	325	203	
	前年度増減	50	56	137	▲ 26	▲ 122	
特別支援学校	認知件数	23	36	86	95	50	
	前年度増減	12	13	50	9	▲ 45	
合計	認知件数	4,214	5,329	9,206	10,198	8,638	
	前年度増減	2,647	1,115	3,877	992	▲ 1,560	
	1,000人当たりの認知件数	県	17.8	22.8	40.0	45.1	38.9
		全国	23.9	30.9	40.9	46.5	39.7

(注) 調査対象校: 県内国公私立小中高(通信制含む)特別支援学校 712校

2 いじめ発見のきっかけ

[単位：件、%]

区 分		令和2年度			令和元年度		
		計	構成比		計	構成比	
			県	全国		県	全国
学校の教職員等が発見		4,644	53.8	67.5	5,756	56.4	67.4
内 訳	アンケート調査などの学校の取組により発見	3,066	35.5	55.4	3,397	33.3	54.2
	学級担任が発見	1,272	14.7	9.6	1,945	19.1	10.4
	学級担任以外の教職員が発見	235	2.7	2.0	320	3.1	2.2
	養護教諭が発見	56	0.6	0.3	77	0.8	0.3
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	15	0.2	0.1	17	0.2	0.2
学校の教職員以外からの情報による発見		3,994	46.2	32.5	4,442	43.6	32.6
内 訳	本人からの訴え	2,425	28.1	17.6	2,583	25.3	17.6
	本人の保護者からの訴え	977	11.3	10.1	1,088	10.7	10.2
	他の児童生徒からの情報	418	4.8	3.3	523	5.1	3.4
	他の保護者からの情報	155	1.8	1.2	211	2.1	1.2
	学校以外の関係機関からの情報	12	0.1	0.1	21	0.2	0.1
	その他（匿名による投書など）	2	0.1	0.1	9	0.1	0.1
	地域の住民からの情報	5	0.1	0.1	7	0.1	0.1
計		8,638	100.0	100.0	10,198	100.0	100.0

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

3 いじめの態様（複数回答）

[単位：件、%]

区分	小学校	中学校	高等学校	特別 支援学校	計	構成比	
						県	全国
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	3,851	957	98	23	4,929	57.1	58.8
仲間はずれ、集団による無視をされる	1,107	224	33	0	1,364	15.8	13.1
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	1,714	168	16	24	1,922	22.3	22.0
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	432	45	7	1	485	5.6	5.7
金品をたかられる	61	27	4	0	92	1.1	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	503	93	10	3	609	7.1	5.1
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	345	75	7	0	427	4.9	8.8
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	96	121	59	10	286	3.3	3.6
その他	299	48	14	0	361	4.2	4.8
計	8,408	1,758	248	61	10,475		

(注) 構成比は、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

4 いじめの解消の状況

[単位：件、%]

区分	件数	構成比	
		長野県	全国
解消済み ※1	7,473	86.5	77.4
取組中	1,156	13.4	22.4
その他 ※2	9	0.1	0.1
計	8,638	100	100

※1: 解消済み(下記2項目を満たして解消となる)

①被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続。

②被害児童生徒本人及びその保護者に対する面談等により、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが認識できる。

※2: 転居等で一定の人間関係が解消 等

5 いじめ重大事態

[単位：件]

区分	長野県	全国
発生校数	4	491
発生件数	5	514
1号重大事態	3	239
2号重大事態	2	347
1,000人当たりの発生件数	0.02	0.04

(注) 調査対象校：国公立小中高(通信系)特別支援学校 712校

・第1号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

・第2号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等が相当に期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

・1件の「重大事態」が、第1号及び第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上されている。